

いやさか通信

(※「いやさか」とは、「^{さか}栄える」という意味を持つ「^{いやさか}弥栄」を平仮名で表記したものです)

	年齢	R3.6末(前月比)
弥栄町の人口	0歳～14歳	488人(0)
	15歳～64歳	2,349人(+6)
	65歳～	1,879人(+6)
	合計	4,716人(+12)

学校と地域をつなぐ

清新高等学校で活動されている地域おこし協力隊の岡部 萌香さんは、生徒が地域の方々と関わる機会づくりに取り組まれています。

今後は、生徒が自由に利用できるオープンスペースに、地域活動やボランティア活動に関する情報を掲示するため、地域の情報を募る予定をしています。



オープンスペース(清新高等学校 2F)



除草作業中の様子(黒部校区の皆さん)



色鮮やかな花々

水辺公園やさか野では、毎年、弥栄町区長会やボランティア団体の皆さん、地域の皆さんにより、除草作業や花壇の管理作業等の環境美化活動が行われ、竹野川の水辺と連帯した景観形成が図られています。

今年も弥栄町区長会の皆さんにより、芝桜の補植作

業や除草作業が行われ、また、公園内にある花壇には、ウインズやさか野の皆さんにより、サルビアやケイトウ等の様々な花の苗が植えられました。

秋には、弥栄町区長会が中心となり、ボランティアを募って除草作業や芝桜の補植作業が行われる予定です。

地域の景観づくり

弥栄町での地域活動紹介コーナーVol.3 ～京都府里の公共員より～



皆さんこんにちは。弥栄町担当の里の公共員福田です。私のミッションの一つが「弥栄町のなりわい」がテーマということで、今回より弥栄町×なりわい(お仕事)にフォーカスしていきます！

第1回目は、弥栄庁舎2階に本所を構える京丹後市社会福祉協議会の森口 紀子さんのお仕事についてインタビューをしました。森口さんが担当される仕事の1つに、弥栄町の『生活支援コーディネーター』があります。地域で困っている方とそれを解決するサービス・地域でお手伝いしたい方をマッチングする仕組みです。些細なことでも社会福祉協議会さんにご相談すれば悩みを解決するお手伝いをして下さいます！

京丹後市社会福祉協議会 森口さんより



私は、「福祉」の視点で地域づくりを行う仕事をしています。暮らしの中での「困った」を解消し、誰もが笑顔で暮らすため、地域の人に協力してもらったり、様々なサービスが活用できるよう、「つなぐ仕組みづくり」を行う仕事です。

そこでお願ひがあります。あなたの周りにある困りごとや、自分はこんなことができるという声を社会福祉協議会へ届けてください。そして、一緒に暮らしやすい地域をつくりましょう。

詳しくは社会福祉協議会(弥栄本所 0772-65-2100)までお問い合わせください。

森口さん、この度はありがとうございました！
里の公共員 福田へのご連絡はこちらまで
【tango.yasaka.sato@gmail.com】